



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

災害時支援制度説明会を開催 町内会長を対象に周知図る

自治連合会は8月22日、町内会長を対象に志津南市民センターで、災害時要援護者避難支援制度について説明会を行いました。

町内会長全員のほか関係者を含め13人が参加、市危機管理課の岡野、織田の両氏が同制度



市民センターで行われた説明会

について説明しました。このあと、質疑応答、意見交換を行い、制度に対する理解を深めました。また、班長を中心とした説明会を計画し理解を深めたのち、住民の協力が得られるよう周知に努めていくことが確認されました。

主な質疑・意見は次の通り。

【質疑】

Q 志津南地区の9町内の自治会長は、具体的にどのような動きをするのか。

A 10月から民生委員により要援護者のお宅への訪問活動を開始することになる。この制度について町内の啓発、周知に努めていただきたい。

Q 現状として、地域住民に対する周知が行き渡っていないと思う。次回の各町内の役員会で、班長等の役員に制度の趣旨を説明し、各家庭への説明は班長が行

うことを考えたいが。

Q 現時点では町内の班長がこの制度を各家庭に説明は出来な

A 町内で研修等を実施される際に出席要請があれば、出席して説明したい。

Q 要援護者の対象者に対して、制度の周知とか民生委員が訪問する旨の通知は市から出すのか。

A まずは制度の周知と民生委員が訪問する旨の連絡を回覧という形でさせていただきたいと考えている。

Q 個別要援護者プランを町内会長が保管するとなっているが、有事の際は、保管場所が倒壊している可能性もある。そういうことから広域避難所(小学校、公民館など)に保管するなど、有事に役立つようにしていく必要があるのではないか。

Q 当地域は、町内会長は毎年変わる。その意味からも公的機関保管すべきであると思う。

A 小学校などでは有事の際、玄関等に鍵が掛かっており、緊急に活用できないと判断し対象としなかったが、ご意見の趣旨も踏まえ、検討してみたい。

【意見】

◇要は地域のコミュニティーはどうあるべきかの問題である。隣近所の周りの何人かが要援護者の状況を知っていればいい。町内会長は、どこに要援護者が住んでいるのリストを把握しておけばいい。まず、ソフト面が基本である。

◇支援者は数多くの人がいる方がよい。社協では福祉委員制度の導入に取り組んでいる。住民同士の助け合いにつなげていきたい。

◇助け合いの精神が必要。支援者は日常生活の中で要援護者の

方の状況を知っておく事が大切である。

◇基本的には普段の生活の中での関係が一番大切であるが、有事の際の制度としても確かなものにしていくことが必要である。

粕谷自治連合会長談

志津南地区では、自主防災連絡会の中で十分検討していただくともに、近隣住民の和を広げていければよいと思う。また、有事の際の第一避難場所の周知を図っていくことが大切だ。(自治連合会)

自主防災会がヘルメット購入

志津南地区自主防災連絡会(結城隆之会長)はこのほど、災害発生時、その他防災活動に



自主防災会が購入したヘルメット(右端が町内会長用)

備えて各町内会役員(班長含む)が着用する防災ヘルメット計88個を購入、各町防災部長を通じて配布しました。

ヘルメットは前年からの課題となっていたものです。担当責任を明示するため会長用は3本、副会長が2本、残りは1本の赤い線がそれぞれ入っています。一個2500円で市から3分の1の補助を受けて購入しました。

同会では災害発生時はもちろんですが、防災訓練や消火訓練などの際にも使用してもらおうとにしています。

工事が始まった調整池



若草と青山の境界に位置する防災池「伯母川調整池」の

調整池の浚渫工事始まる

浚渫(しゅんせつ)工事が8月から行われています。開設後初めての浚渫工事、およそ三十年分の堆積土砂の排出ということになりま...

既に池を取り巻く土手の草刈りは終わり、すっきりサツパリ。防災用調整池で天災を予防する施設も、放置すれば環境悪化装置ともなります...

(志津南地区自治連合会)

木瓜原遺跡を見学する子どもたち (立命館大学びわこ・くさつキャンパス)



協働合校が宿泊体験

「自立」テーマに大学探検など

志津南地区地域協働合校(岩井淑郎会長)は8月7日、8日の2日間、「自立」をテーマに宿泊体験を開催、4年生から6年生までの14人が参加しました。

午後1時に開校したあと、オリエンテーションで決めたメニューを確かめた。夕方からは、お待ちかねの立命館大学天文研究会による手作りプラネタリウム公演。会議室に設置された手作りのドームの中で、夏の星座や秋の星座、神話についてお話を聞き、映し出される星座を見ながら楽しいひとときを過ごしました。

元気よくラジオ体操する子どもたち (中央公園)



ラジオ体操に3千人超参加

夏休み期間中の7月21日から8月6日までの前期と、8月23日から31日までの後期あわせて20日間、地域内の各公園で7時30分からラジオ体操を実施、延べ3200人が参加しました。

特に中央公園では奥田隆三(若寿会代表)さんの指導で第一、第二体操まで行い、若寿会のみならずとぎやかに楽しく世代をこえての交流が生まれました。

(志津南小学校PTA地域部)

その後、若草中央公園で天体観測の予定でしたが、曇っていたため観測はできず、設置していた天体望遠鏡の話聞きましました。

二日目は、6時半から若寿会の協力を得てラジオ体操、朝食のあと、キャンパス探検のため立命館大学へ。同大学生、田さんのナビゲーションでキャンパス内を探検。大教室では、大

地下に眠っている「木瓜原遺跡」(7世紀頃のもので、当時の製鉄所跡)について説明、子どもたちは、不思議そうに聞いていました。



- 9月16日 (木)
 - ★ふれあい広場 10:00~12:00
 - 9月18日 (土)
 - ☆健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
 - 9月22日 (水)
 - ★やすらぎ学級 13:30~17:00
 - 9月25日 (土)
 - ☆社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
 - 9月28日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30
 - 10月1日 (金)
 - ★定例健康相談日 9:30~12:00 市健康推進課
 - ★ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
 - 10月2日 (土)
 - ☆健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
 - 10月12日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30
 - 10月13日 (水)
 - ☆教養文化講座「古今東西」 9:00~16:00
 - 10月16日 (土)
 - ★わんぱく・地域協働合校 10:00~15:00
 - 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶 (お茶の間) 10:00~12:00 若草第五集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です



「さくら」を鑑賞しました。写真。羽が折れて飛べないホタルや、嵐で目が見えなくなったホタルが、仲間と助けあって、安全な住処を求めて旅に出るストーリーで、色とりどりのかわいらしいホタルが歌ったり踊ったり。楽しい、そして胸にキュンとくる90分でした。

ほんとの優しさって何だろう。仲間って何だろう。自分のできることは何だろう。いろいろなことを思いながら、ホタルたちと楽しく歌ったり、お友達のこ

やすらぎ学級でミュージカル

まだまだ暑さの厳しい8月25日、第5回やすらぎ学級が開かれ、グループ夢うさぎさんのミュージカル「とべないホタル」を鑑賞しました。写真。

羽が折れて飛べないホタルや、嵐で目が見えなくなったホタルが、仲間と助けあって、安全な住処を求めて旅に出るストーリーで、色とりどりのかわいらしい7匹のホタルが歌ったり踊ったり。楽しい、そして胸にキュンとくる90分でした。

人権講座で講演会

人権講座・第三講座(同推協・市民センター共催)が8月28日、市民センターで開かれ、



滋賀県人権センターの田中守さんが「国語・算数・理科・社会」という標題で講演しました。写真。

田中さんは用意した4枚の資料を使い、受講生も参加して話を進めました。最初に、ひとつの漢字をいろいろな角度から見ると、いくつもの漢字がかくれていることを説明されると受講生が驚きの声。家系図では何代も前の先祖の名前が書けるかと言えば、ほとんど書けない、またC型肝炎の知識チェックシートでは一般認知度は低く、

とを思ったり心温まる講座になりました。「生まれてきてよかった!」夏の午後でした。

と言う「とべないホタル」とは、心ほんわかと残った夏の午後でした。

常日頃何気なく使っている言葉にも、思わぬ差別が潜んでいると知り「気付いてなかったことに気付けた」という声も聞かれました。

まちがった認識を持っている方には正しく伝えること、隣で苦しんでいる人がいればサポートする、など今後の町内学習懇談会に向けて参考になる話が聞けました。

パソコン受講生募集

市民センターがパソコン講座の受講生を募集しています。内容は次の通りです。

日時 10月18日(月)20日(水)22日(金)

午前10時~午後3時 (休憩1時間)

1回目 写真入り案内状づくり

2回目 マイカレンダーづくり

3回目 年賀状づくり

場所 志津南市民センター

受講料 1回 600円

(1回単位で申し込みます)

別途テキスト代800円程度必要(3回共通)

対象 草津市在勤・在住の方

文字入力できる方

定員 各回10人(先着順)

締切り 10月9日 午後5時

申込み 志津南市民センターへ

直接お申し込みください。

受講料とテキスト代は申し込み時にお支払いください。

若草八丁目 10月9日(土) 17時30分~19時00分

市民センター(和室)

岡本町西 10月9日(土) 19時00分~20時30分

市民センター(会議室)

パソコン受講生募集

25日に消火訓練

志津南地区自主防災連絡会（結城隆之会長）は南消防署の協力を得て9月25日（土）午前9時半から、若草中央公園で地域ぐるみの消火訓練を行います。

訓練には各町内会長、副会長、部際部長、交通防犯部長、班長

（2名）が参加しますが、一般住民にも参加を呼びかけています。訓練は消火器の取り扱いのほか、防火水リレー、防災グッズなどが予定されています。

雨天の場合は、町内会役員2名、子ども会など住民ら人数を絞った上、同時刻から志津南市民センター（公民館）で防災

ビデオ観賞や止血法、応急担架

26日にスポーツまつり

づくりなどを学びます。

昨年は新型インフルエンザの流行で中止となったスポーツまつりを9月26日（日）午前10時から志津南小学校グラウンドで、第6回志津南地区スポーツまつりとして開催します。地域の幼児から高齢者までの



棚田

幾重にも連なる棚田に青々と育つ稲。これ、どこか思われるだろうが、実は岡本町西の住宅団地北側の田んぼ。山手幹線（県道2号）の歩

道橋の上から撮影したものである。農水省の「日本の棚田百選」には、残念ながら入っていないが、カメラで切り撮ってみれば風情豊かな棚田である。げんなりするほどの猛暑が続いているが、その中で秋を待つ姿がさわやかに感じられる。



▼5年生リーダー研修
日時 10月23日（土曜日）
9時～15時
場所 ロクハ公園デイキャン
プの森
対象 小学5年生
内容 野外活動（飯ごう炊さんほか）

志津南地区子ども会では次の事業を計画しています。多数で参加ください。
▼ハイキング&ぶどう狩り
日時 9月23日（秋分の日）
8時15分受け付け
8時30分出発
15時解散予定
場所 太田ぶどう園
詳細はお配りしています案内チラシをご覧ください。

子ども会がハイキングなど

幅広い皆さんに楽しんでいただけるよう、アメツかみ競争やグラウンドゴルフなど競技種目に創意工夫していますので、ふるってご参加下さい。
なお、雨天の場合は競技種目を調整して志津南小学校体育館で実施します。

折々の記

長引いた梅雨、予報に反する連日の猛暑、この自然界における「常識外」ともいえる異変は「環境破壊」という「人災」によると言われる。わが街について見てみると、あるある環境破壊（人災）、次のような「珍現象」が発生していた。
その一、祭りは楽しむが、平気でゴミをポイ捨て
「唯我独尊」のKY人。
その二、夜通し鳴きつ放しで近所中を不眠に陥れ、通行人には吠えまくる。もう辛抱の限界と、飼いの苦情を申し出られると「犬は吠える動物です」と平然と言いつ返し、最期まで黙けることもなく「猫（犬）可愛がり」に徹した自称「愛犬家」。
その三、路上駐車を注意されると「他の人もやっている」と正当化した挙句、後日には「他人の路上駐車」を逆告発、「注意しに行け」とせがむ執念深いジコチュウ人。
その四、車三台所有、自宅前に二台路上駐車。お向かいの車が出入庫できない事態。これに対し「ウチの車庫、一台分しか入りませぬん」（だったらいいの？入らない二台は路上で車庫証明とれたの？それよりお向かいさん困ってはるんですけど）等々、笑いごとで済まされない事例がいっぱい。
このような無神経、常識外な言動によって、確実に隣人関係は悪化している。迷惑駐車や騒音による物理的な環境悪化だけでは済まない。
住民みんなが希望する「明るく住み良い街づくり」を阻害し、地域住民のストレスを増幅するなど、「住環境破壊」という「人災」を引き起こすことにつながるのだ。
町内会長にケンカの仲裁をさせれば解決する問題ではない。街づくりの担い手である一人ひとりの「こころ」が問われているのだ。
みんなの若草を大切に守り育てたい。みんなの力でね。
（若草九丁町内会長）